

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

アカデミックで自由闊達な校風のもと、文武両道の実践を通じて、国際社会の真のリーダーたるにふさわしい人材の育成をめざす。そのためには知・徳・体のバランス、豊かな人間性と心身のたくましさ、さらには高い志とチャレンジ精神が必要である。それらによって自らの進路を切り開き、高邁な理想で社会に貢献する生徒を育成する。具体的には以下の能力や態度をもつ生徒である。

- ・多角的な視点を持ち、ものごとを洞察する力、
- ・主体的に課題を解決しようとする態度、
- ・高度なコミュニケーション能力、
- ・自己を確立するとともに、互いの違いを認め合い尊重しようとする態度

以上の「育てたい生徒像」をベースにして、「北野生の『凄さ』が輝く学校づくり」に オール北野 で取り組む。

2 中期的目標

1 高い学力の育成

教員、生徒がともに真摯に学ぶ環境を追求し、高度な知識と教育スキルを兼ね備えた教員集団を確立する。授業を通じて生徒が学問に対する興味・関心を高め、自ら主体的に学び、さらに高度な学びに向かってチャレンジしていく意欲を高める。生徒に育成すべき資質・能力として、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を常に意識して取り組む。

(1) アカデミックな授業 ～北野生の「凄さ」が「輝く」授業づくり～

ア 授業に係る研修機会や授業相互参観等の充実を図り、教職員の授業スキルの一層の向上を図る。イ 教員の専門的知識やICT活用法を研鑽する機会の充実を図る。

- ※ 学校教育自己診断（教職員向け）「教科指導について、教職員と日常的によく話し合っている」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上（R2 87.5%, R3 89.6%, R4 87.7%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上を維持（R2 93.3%, R3 95.0%, R4 95.9%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「授業などでコンピュータやプロジェクタ、電子黒板を活用している」の肯定的評価が令和7年度実績で95%以上を維持（R2 96.1%, R3 95.9%, R4 97.2%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「授業は興味深く満足できるものである」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上を維持（R2 93.0%, R3 96.6%, R4 94.5%）

(2) 主体的に学ぶ意欲・態度の育成

ア 生徒が自学自習を進めやすくなるような方策を検討し、併せて適切なアドバイス等を行う。イ 生徒の自己実現、進路目標設定のためのキャリア教育の充実を図る。

- ※ 生活アンケート（生徒向け）により把握する「平日の一日平均自主学習時間」が「2時間以上」と回答する生徒の割合を令和7年度実績で50%以上（R2 48.7%, R3 51%, R4 48.9%）、「3時間以上」と回答する生徒の割合を同30%以上（R2 30.5%, R3 37%, R4 28.4%）
- ※ ①「知的世界の冒険」、②「職業ガイダンス」、③「学部・学科ガイダンス」各々の生徒アンケートにおける肯定的評価を令和7年度実績で各々95%以上を維持する。（①R2 100%, R3 100%, R4 95.6% ②R2 100%, R3 100%, R4 91.8% ③R2 99.0%, R3 99%, R4 98.3%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「学校は進路についての情報を知らせてくれる」の肯定的評価を令和7年度で90%以上を維持（R2 93.6%, R3 94.3%, R4 89.4%）
- ※ 生徒進路希望現役実現率（3年第2回11月進路希望調査の第一志望校の現役合格率）が令和7年度実績で45%以上（R2 45.5%, R3 56.5%, R4 41.1%）

2 豊かな人間性と心身のたくましさの育成

本校の生徒は、将来、知・徳・体のバランスの取れたリーダーとなり、社会に貢献する使命を持つ。本校のあらゆる学習活動、学校行事、部活動やその他の課外活動等を通じて、互いの違いを認め合いつつ協力し、切磋琢磨する中で、高い志を持って何事にもチャレンジしていく心身を育成する。

(1) 学校行事・部活動・課外活動

ア 学校行事や部活動において、生徒がその力を十分に発揮できるよう組織的に支援していく。

イ 各種コンクール、コンテストや課外での行事等への積極的参加を働きかけていく。

- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「文化的行事（体育行事）に楽しく参加している」の肯定的評価の平均値が令和7年度実績で90%以上を維持（R2 90.1%, R3 90.9%, R4 92.3%）
- ※ 生活アンケート（生徒向け）における「部・同好会加入率」が令和7年度実績で92%以上を維持（R2 92.4%, R3 89.4%, R4 93.4%）
- ※ 全国レベル、近畿レベルのコンクールやコンテスト、競技大会等への参加者数について、令和7年度に前年実績を維持（R2 18人, R3 61人, R4 61人）

(2) 人権教育・教育相談の充実

ア 「人権が尊重された教育活動」を根底にすえて、すべての教育活動において、「自分を大切にし、他者を大切にし、その中で自分も大切にされる」集団づくりを進めていく。

イ 生徒や保護者に対するきめ細やかな教育相談ができるよう、情報の共有や体制づくりを一層進める。

- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的評価が令和7年度実績で85%以上を維持（R2 89.6%, R3 89.1%, R4 93.4%）
- 「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる」の肯定的評価が令和7年度実績で70%以上（R2 71.6%, R3 62%, R4 79.3%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上（R2 90.8%, R3 91.1%, R4 97.4%）
- ※ 学校教育自己診断（教職員向け）「すべての教育活動において、人権を尊重する姿勢で指導が行われている」の肯定的評価が令和7年度実績で80%以上（R2 73.2%, R3 81.2%, R4 80.7%）

3 次代のグローバル・リーダーの育成

国際的な視野を育むとともに、グローバルな社会課題を多角的に学び、積極的にその解決策を提言できる生徒を育成するため、海外や大学との連携を図る。また英語の4技能を一層バランスよく育成して、英語によるコミュニケーション能力のさらなる伸長を図る。

(1) コミュニケーション力、議論する力、プレゼンテーション力の育成

ア 授業を中心とするさまざまな学習活動の中で、自分の考えをまとめ表現できる力、相手の主張を理解し自分の意見を交えてしっかりと議論ができる力を育成する。

- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「授業で自分の考えをまとめ、発表する機会がよくある」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上を維持（R2 96.0%, R3 95.5%, R4 93.1%）

(2) 海外の機関との連携、高大連携の充実

ア 高大連携を通じて、国際的な視点で大学の研究の最先端に触れ、国際的な社会課題への関心や、その課題解決に向けた意欲を高める。

イ 海外の大学や高校と連携し、アジアからの留学生との交流や留学生の支援を得る機会を充実させる中で、異なる文化や社会への理解を深め、国際的な視野を広げる。

- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「国際理解や世界情勢について学ぶ機会がよくある」の肯定的評価が令和7年度実績で80%以上を維持（R2 86.1%, R3 86.3%, R4 84.6%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「本校で海外からの高校生との交流会、学内留学、海外研修、留学生とのディスカッション等、英語を使って海外の人と交流したり学んだりする機会に参加したことがある」の令和7年度実績が80%以上（R2 56.7%, R3 62.3%, R4 89.4%）
- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「国際的な社会課題や政治の動きに関心がある」の肯定的評価が令和7年度実績で80%以上（R2 77.5%, R3 77.2%, R4 83.7%）

4 学習環境及び職場環境の充実

(1) 学習環境のさらなる充実

ア 生徒の主体的な実践を通して清々しく過ごせる学習環境の創出・充実に取り組む。

生徒が自らよき生活習慣、生活規範を確立し、学習・部活動、その他の活動に健康的にバランスよく取り組めるよう、機会を捉えて啓発活動を行う。また、SNS上でのいじめやトラブル未然防止のため、情報リテラシーの育成にも取り組む。また、生徒自治会・生徒保健委員会等の生徒主体の活動を尊重し、新型コロナウイルス感染症防止対策など、望ましい学習環境を自らの行動によって支える意識を高める。

イ 北野生の「凄さ」が「輝く」授業・事業の継続のため、予算の効果的・効率的な執行に努める。また、老朽化してくる教材機器・設備の更新の計画的な実施を検討する。

(2) 職場環境のさらなる充実

教員が専門的知識及び教育スキルを高めるため、また生徒と向き合う時間を確保するため、業務の見直しを行い、時間外労働の縮減に取り組む。教員が自分の仕事に誇りを持ち、働きがいを感じる職場の雰囲気づくりを心がける。

以上のすべての活動を通じて、生徒の学校満足度を高める。

- ※ 学校教育自己診断（生徒向け）「北野高校に来てよかったと思う」の肯定的評価が令和7年度実績で90%以上（R2 91.9%, R3 94.5%, R4 91.9%）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和5年12月実施分〕	学校運営協議会からの意見
<p>1. 高い学力の育成 授業に関わる研修機会や授業相互参観等の充実を図り、教員が授業力向上に努めるとともに、専門知識やICT活用法を研鑽し、アカデミックな授業づくりを進める。教員個々が、授業を通じて、生徒の学問に対する興味・関心や、主体的に高度な学びに向かう意欲を高める。生きて働く「知識・技能」、未知の状況に対応する「思考力・判断力・表現力」、学びを人生に生かす「学びに向かう力・人間力」を、常に意識して授業づくりに取り組む。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「授業では、ペアワーク・実験・実習・観察などの時間がある」(生徒99.1→99.2%) *「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」(生徒95.9→94.9%)</p> <p>2. 豊かな人間性と心身のたくましさの育成 生徒たちは、将来、知・徳・体のバランスのとれたリーダーとなり、社会に貢献する使命がある。生徒たちは、本校のあらゆる教育活動、学校行事、部活動やその他の課外活動等を通じて、互いの違いを認め合いつつ協力し、切磋琢磨する。学内外の各種コンクール・コンテスト、発表会、英語を使う諸活動、地域貢献活動等に、生徒たちがしっかりと取り組めるよう、将来の進路や生き方、命の大切さや人権、社会のルールやモラルについて考える機会を充実させる。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「ホームルーム活動が活発で楽しい」(生徒93.6→93.9%) *「HRや講演会などで将来の進路や生き方について考える機会がある」(生徒96.1→98.1%)</p> <p>3. 次代のグローバル・リーダーの育成 コミュニケーション力、議論する力、プレゼンテーション力の育成に向け、生徒が自ら考え発表する機会を、授業の中でいかに充実させていくか、今後も引き続き、各教科・科目で考えていく。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒93.1→96.8%) *「本校で海外からの高校生生の交流会、学内留学、海外研修、留学生とのディスカッション等、英語を使って海外の人と交流したり学んだりする機会がある」(生徒89.4→92.5%)</p> <p>4. 保護者、府民への学校情報の提供、公開 情報共有を行い、開かれた学校教育の実現を図る。学校からの情報の配信には、一層の充実と利便性を求めていくことが必要と考え、学校ブログとPTAブログを開設している。また、年2回の授業公開、学級・個人懇談や各種説明会により、学校生活や進路に関する情報を、きめ細やかに提供していく。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「学校の教育方針がよくわかる」(保護者85.8→85.1%) *「学校と保護者が話をする機会が、学級・個人懇談や各種説明会など設定されている」(保護者78.4→83.1%) *「授業参観や学校行事に参加したことがある」(保護者85.6→90.1%)</p> <p>5. 学校生活への満足度 学校生活全般を通じて、満足度を高められるよう教育活動の充実を図る。学校生活に違和感を抱いている生徒に対して、スクールカウンセラーによる「心のケア」も行っている。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」(生徒93.4→94.5%) *「相談事があるとき、担任以外でも保健室や相談室などで相談できる」(生徒79.3→82.2%) *「学校へ行くのが楽しい」(生徒91.5→91.8%) *「北野高校に来てよかったと思う」(生徒91.9→94.9%) *「子どもを北野高校に通わせてよかったと思う」(保護者94.0→93.2%)</p> <p>【記述回答についての学校の考え方と検討状況】</p> <p>1 進路指導について 生徒に対しては、各学年で進路説明会を実施している。1年では、大学教員や企業の方による学問や職業についての講演、2年では、大学の学部・学科について、本校卒業生たちによるガイダンス、3年には、複数回の進路説明会以外に、具体的な入試の説明会など実施している。またPTA総会において、保護者向けに進路部長による説明会も行っている。大学や学部などの選択は、それぞれの人生に対する考え方を実現していくものなので、各個人の意思が最も重要だと考えている。 ＜学校教育自己診断参考データ＞ *「学校は子どもの進路に関する情報を保護者に十分提供している」(保護者62.5→59.7%)</p> <p>2 制服について 現在、本校は標準服ではなく制服を着用することになっており、学校で定めた制服以外での登校は認めないということを学校の方針としている。ただし「生活の手引き」にも記載の通り、防寒具の着用は、制服を正しく着用することが条件の上で認めている。 令和6年度より、だれもが安心して着用できる制服をめざし、生徒たちの意見を取り入れた制服に変更する。</p> <p>3 保護者への学校情報提供・メールについて 昨年度、学校ブログを開設し、本年度よりPTAブログを開設した。また、緊急事態に備えて、生徒全員と、ほとんど全ての家庭にライデンメールの登録を促した。学校からの緊急連絡を主目的としている。</p>	<p>●第1回学校運営協議会 令和5年7月21日(金)</p> <p>1 授業見学の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典及び数学の授業を見学。考えさせる授業展開で様々な工夫があつて良かった。 ・アクティブラーニングを意識した双方向性の授業展開。大学側も対応していく必要がある。ただし、時間をかけてじっくりと取り組まなければならないこともあるので、科目の特性や内容を鑑みる必要がある。 ・大阪府が推奨している授業モデルでは授業の目的をまず明確化し、生徒が話したくなるような(一人では答えが出ないような)テーマを設定する。そして、ペアからグループ、クラス全体の学びへとつなげることで生徒の学習が活性化する <p>2 事務局より今年度の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーの観点から、次年度より制服を変更。一昨年度に検討委員会を教職員で立ち上げ、議論を重ねて制服を変えることに決定。制服を着て苦痛な思いをする生徒を減らすねらい。 <p>→質問 制服に関してジェンダーで配慮した点はどこか。</p> <p>回答 性差を感じないようにしている。パンツスタイルやボタンにも工夫。男女ほぼ同じデザインだが、個人の体型によって調整可能になるように配慮。昨年度人権研修を実施。LGBTQ・性差で苦しんだ方の経験を生徒と教職員が学んだ。</p> <p>意見 許容力・寛容性を生徒と教職員が持つことは大切。先進的な取り組みである。</p> <p>●第2回学校運営協議会 令和5年12月8日(金)</p> <p>1 事務局より今年度の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の充実：六稜祭の1.5日制の導入。従来にはない盛り上がりを感じた。生徒の意見を取り入れ、教員と生徒が一体となって実現した。 ・課外活動への果敢な参加：加入率100%超え(兼部を認め、多様なニーズに応えている) ・来年度第3回校内模試を外部と連携して行う。データベースなども利用しつつ、生徒により新しくより良い教材を提供したいという試み。 ・海外学校との国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 7月末 台湾研修の実施 20～30名 ➢ 3月末 デンマーク研修の予定 8泊9日。6名。 ➢ 3月末 アメリカ研修の予定 3名 ➢ 12月 台湾の高校から訪問 ➢ 4月(令和6年度)、デンマークの学校から訪問予定 <p>2 協議・意見交流</p> <p>テーマ 「創立150周年を迎えた北野高校の今後に期待すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の制度や社会も大きく変化する時代の中で、北野高校の生徒には社会貢献を期待したい。 ・豊かな人間性があつて、はじめて他の能力がいきる。北野高校でできたつながりは後からできないつながりなので、これを大切にしてほしい ・授業力を高めようとする姿勢が伺え、他校と協力することでお互い良い刺激となり、大阪府全体で高め合うことができるのではないかと。 <p>●第3回学校運営協議会 令和6年2月29日(金)</p> <p>1 事務局より今年度の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの経年変化では昨年度より上がっているものが多い。 ・共通テストの結果が良い。他校との比較をしても昨年度からの伸びが大きい。基礎学力がきちんとついている。 <p>2 協議・意見交流</p> <p>➢ 学校教育自己診断について</p> <p>→質問 保護者と生徒の回答数が異なる。保護者の回答項目の「分からない」「どちらともいえない」をどう評価するか。</p> <p>回答 経年変化を見ているため、質問の抜本的な変更を行いにくいと検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「悩みや相談に乗ってくれる教員が多い」、「保健室や相談室を利用しやすい」の割合が増加している点は喜ばしい。 ・補習より、授業内で完結することが大切であり、授業中心主義は高校らしくて良い。また授業中心主義は働き改革にもつながる。 ・全般的に肯定的評価が多い点はよい。情報発信については近隣の中学校とも生徒、教職員で交流できればいい。 ・息子は受験直前も冷静。自立心を含め、北野高校で大きく成長した。(保護者)

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標 [R 4 年度値]	自己評価
1 高い学力の育成	<p>(1) アカデミックな授業 ～北野生の「凄さ」が「輝く」授業づくり～</p> <p>ア 教職員の授業スキルの向上</p> <p>イ 研鑽機会の充実</p> <p>(2) 主体的に学ぶ意欲・態度の育成</p> <p>ア 自学自習の推進</p> <p>イ キャリア教育の充実</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内での授業公開週間を実施 公開研究授業の実施 他校の初任者等教員との授業力向上研修の実施 校内の教員相互の授業見学を継続。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT・オンライン学習等に係る教員研修の開催 他校や校外における授業研修等への参加者を増やす。 研修等への参加者と他の教員との間で研修内容等の共有化を図る仕組みをつくる。 教員の専門的知識を研鑽する機会のあり方について検討する。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を通じ教科・科目の学習への興味・関心を一層高める。 自学自習の推進方策についての検討を深める。(主体的な学習習慣の定着、学習の質量両面での充実) 図書館の設備や資料の活用を働きかけ、生徒の自主的、自発的な読書活動や学習活動の充実を支援していく。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知的世界の冒険」「職業ガイダンス」「学部・学科ガイダンス」の実施 進路目標の早期設定に向けた取組の充実 	<p>(1) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断(教職員向け)(以下「教職員自己診断」)「他の教員の授業を参観する機会がある」90%以上を維持 [91.2%]。 教職員自己診断「教科指導について、教職員で日常的によく話し合っている」の肯定的評価が90%以上 [87.7%]。 学校教育自己診断(生徒向け)(以下「生徒自己診断」)「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」の肯定的評価が90%以上を維持 [95.9%]。 生徒自己診断「授業などでコンピュータやプロジェクト、電子黒板を活用している」の肯定的評価90%以上を維持 [97.2%]。 生徒自己診断「授業は興味深く満足できるものである。」の肯定的評価が90%以上を維持 [94.5%]。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの「平日の一日平均自主学習時間」が「2時間以上」を50%以上維持 [48.9%] 「3時間以上」を30%以上維持 [28.4%]。 図書館の働きかけを通して、貸出冊数の増加や学習活動の充実を図る。(R 4 4904 冊) <p>(2) イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知的世界の冒険」、「職業ガイダンス」、「学部・学科ガイダンス」各々の肯定的評価95%以上を維持 [95.6%, 91.8%, 98.3%]。 生徒自己診断「学校は進路についての情報を知らせてくれる」の肯定的評価が90%以上を維持 [89.4%]。 進路希望現役実現率を50%以上 (R 4 41.1%) とする。 	<p>(1) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「他の教員の授業を参観する機会がある」 [78.8%] △ 「教科指導について、教職員で日常的によく話し合っている」 [82.7%] △ 「教え方にさまざまな工夫をしている先生が多い」 [94.7%] ○ 「授業などでコンピュータやプロジェクト、電子黒板を活用している」 [97.3%] ○ 「授業は興味深く満足できるものである。」 [94.7%] ○ <p>(2) ア スタサポ学習状況リサーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「平日の一日平均自主学習時間」が「2時間以上」 [49.8%] ○ 「3時間以上」 [26.2%] △ アンケート時期の変更(4月に実施) 貸出冊数の増加 (R 5 4713 冊) △ <p>(2) イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知的世界の冒険」、「職業ガイダンス」、「学部・学科ガイダンス」 [100%, 100%, 98.5%] ◎ 「学校は進路についての情報を知らせてくれる」 [92.1%] ◎ 進路希望現役実現率を (R 5 52%)
2 豊かな人間性と心身のたくましさの育成	<p>(1) 学校行事・部活動・課外活動</p> <p>ア 学校行事や部活動</p> <p>イ 各種コンクール等への参加</p> <p>(2) 人権教育・教育相談の充実</p> <p>ア 人権基礎教育推進</p> <p>イ 教育相談の充実</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事が生徒にとってより魅力的なものになるように不断の改善を図る。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が課外への活動に積極的にチャレンジしていくよう、情報提供等を含め、働きかけを活発にする。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の人権教育の体系化を図る。 教職員の人権意識をさらに高めるための研修機会等について検討する。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況についての共有化を一層図る。 SCとの連携やケース会議の充実、関係機関との連携を一層図っていく。 教育相談にかかる校内体制づくりを推進する。 	<p>(1) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自己診断「文化的行事(体育行事)には楽しく参加している」の肯定的評価の平均値が90%以上を維持 [92.3%]。 生活アンケート(生徒向け)における「部・同好会加入率」90%以上 [93.4%]。 全国レベル、近畿レベルのコンクールやコンテスト、競技大会等への参加者数がR 4 実績を維持[61人]。 <p>(2) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自己診断「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的評価が85%以上を維持 [93.4%]、「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる」の肯定的評価が70%以上 [79.3%]。 生徒自己診断「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の肯定的評価が90%以上維持 [97.4%]。 教職員自己診断「日常の教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導が行われている」の肯定的評価が80%以上 [80.7%]。 	<p>(1) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文化的行事(体育行事)には楽しく参加している」 [94.1%] ◎ 生活アンケート(生徒向け)における「部・同好会加入率」 [91.5%] ○ 全国レベル、近畿レベルのコンクールやコンテスト、競技大会等への参加者数がR 4 実績を維持 [44人] △ <p>(2) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」 [94.5%] ◎ 「担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる」 [82%] ◎ 「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」 [92.3%] ○ 「日常の教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導が行われている」 [84.6%] ◎
3 次代のグローバル・リ	<p>(1) コミュニケーション力、プレゼンテーション力の育成</p> <p>ア 議論できる力等の育成</p> <p>(2) 海外の機関や大学との連携</p> <p>ア 高大連携</p> <p>イ 海外との連携</p>	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「課題研究」「学内留学」「国際情報」「海外研修」等を中心に、英語を含めて、ディベート(即興型)やプレゼンテーション等の学習と実践を行う。 <p>(2) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な社会課題への関心と課題解決に向けた意欲を高めるため、地域の資源やWWL事業も活用するとともに高大連携をさらに進め、課題研 	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒自己診断「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がよくある」の肯定的評価が90%以上を維持 [93.1%]。 <p>(2) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員自己診断「本校は、外部(保護者、地域、大学、教育産業等)との連携・協力が積極的に取り組んでいる。」の肯定的評価が80%以上 [80.7%]。 	<p>(1) ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がよくある」 [96.9%] ◎ <p>(2) ア、イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「本校は、外部(保護者、地域、大学、教育産業等)との連携・協力が積極的に取り組んでいる。」 [84.6%] ◎

府立北野高等学校

 ダ の 育 成		<p>究における生徒支援をさらに進める。</p> <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外の大学や高校との連携をオンラインを活用するなどしてさらに進め、また長期留学生を受け入れることで、生徒の国際経験を深めるとともに、課題について研究し、成果を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自己診断「国際理解や世界情勢について学ぶ機会がよくある」の肯定的評価が80%以上を維持[84.6%]。 生徒自己診断「本校で海外からの高校生との交流会、学内留学、海外研修、留学生とのディスカッション等、英語を使って海外の人と交流したり学んだりする機会に参加したことがある」の肯定的評価が80%以上[89.4%]。 	<ul style="list-style-type: none"> 「国際理解や世界情勢について学ぶ機会がよくある」[87.6%] ◎ 「本校で海外からの高校生との交流会、学内留学、海外研修、留学生とのディスカッション等、英語を使って海外の人と交流したり学んだりする機会に参加したことがある」[92.5%] ◎
4 学 習 環 境 及 び 職 場 環 境 の 充 実	<p>(1) 学習環境の充実</p> <p>ア 学習時間の確保</p> <p>イ 予算の効果的執行等</p> <p>(2) 職場環境の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に策定した「北野高等学校部活動に係る活動方針」の運用について検証を続ける。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業第一主義」を支える予算の効果的執行 教材機器・各種設備の更新、トイレ等生活環境の改善に向けた中期的検討 <p>・校内組織の見直し継続</p> <p>・会議の回数、時間の見直し継続</p> <p>・同僚性の高い職場の雰囲気づくり</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートの「部活のない休日の一日平均自主学習時間」が「4時間以上」を50%以上[49.8%]、「5時間以上」を同40%以上[37.3%]。 <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校会計事務の適正な遂行のもと、教員と事務職員がそれぞれの専門性を生かしつつ、必要な情報を収集共有し互いに知恵を寄せて、生徒のためよりよい教育活動に向けた創造的提案を行う。 保護者自己診断「学校の施設・設備や学習環境は満足できる」65%以上目標。[70.1%] <p>・教職員の年平均在校時間を前年度より削減する。[341.2]時間</p>	<p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「部活のない休日の一日平均自主学習時間」が「4時間以上」を50%以上[45.3%]、「5時間以上」を同40%以上[34.2%]。○ <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校会計事務の適正な遂行のもと、教員と事務職員がそれぞれの専門性を生かしつつ、必要な情報を収集共有し互いに知恵を寄せて、生徒のためよりよい教育活動に向けた創造的提案を行う。 「学校の施設・設備や学習環境は満足できる」[71.9%] ◎ <p>・教職員の年平均在校時間[404.6]時間] △</p>